

2024年度「ケニア 短期派遣プログラム報告書」

農学部・生物資源開発学科・1年・学籍番号：49324067・氏名：天野 聡太

1. 当初の目的

ケニア短期派遣プログラムに参加した主な目的は、日本では体験できないような異文化を肌で感じ、様々な物事への関心を深めることであった。大学に入学し興味のあるもの一つを突き詰める事も重要だが私はまだ一年ということもあって将来の進路が狭まることに不安を感じていた。そのため一年のうちに多くの事を経験し、将来何をやりたいのか再確認すると同時に大学で何を学ぶかを定めたいと考えている。そのような中でケニアという特殊な環境下に置かれている国の農業や国際的に問題視されているフードロスなどを実際に足を運び学べる本プログラムを知り、興味の幅を広げる良い機会だと思い応募した。

私は海外に4年間住んでいた経験があり、その経験を活かすために国際的な物事に関心がある友人を作りたいと考えていた。そのため本プログラムに参加した15人と現地でのプログラムに同伴していただいたジョモケニヤッタ農工大学の学生と交流を深め、現地の事やケニアの歴史、環境などをより詳しく理解すると同時に彼らと友人になり、国際的な友好関係を広げることも目的の一つであった。

2. 目的達成のために現地で活動した内容

目標を達成させる上で私が一番意識した点は時間の使い方だ。本プログラムは短期派遣プログラムということもあり約2週間と短く限られた時間しかない。その期間で多くのことを学び、貴重な時間を最大限楽しむために時間の使い方に重きを置いて生活していた。

バスの移動時には外の建物の作りや現地人の生活風景を元に現地の学生からケニアでの生活の事を聞く事ができた。またバスの運転手と仲良くなり動物やアフリカ大陸が分断されると言われているGreat Rift Valleyに連れてってもらい詳細を教えてもらった。行く先々では自然や機械など許可の取れている物は積極的に触れ、学べる事は全て吸収しようという姿勢で授業に臨んだ。疑問に思ったことはすぐに現地の学生や先生方に質問をし、理解を深めると共に多くの方々とコミュニケーションをとることに努めた。

夕食前やホテル付近での隙間時間にはコミュニティ内のスーパーマーケットに行きケニアでの物価や日本には無いフルーツ、スパイス、生肉の売り方などを見る事ができた。また日本のスーパーマーケットとは違い、服や家具など品揃えが幅広いなどの違いにも気付けた。スーパーマーケットには荷物検査をする警備員がいた。私は毎日通っていたため警備員の方とも友好関係を築く事ができ、プログラムの終盤ではスナックを一緒に食べるほどコミュニケーションをとることができた。ホテルがあるコミュニティ内にはプールや遊園地などの施設もあったため物怖じせず足を運んだ。私なりに時間を有効的に使った結果、座学はもちろん現地でしか感じる事の出来ない多くの事を体験し、吸収する事ができたと感じている。

3. 目標達成度の自己評価

今回の短期プログラムでの目標達成度を数字で表すと 8/10 と私は評価する。短期プログラムに参加した当初の目標は農業と国際問題への興味の幅を広げる事と国際的な友人関係を築く事であった。そして私は今回の短期プログラムを通して多くの事を学び、沢山の友人を作る事ができた。現地で使用しているオーガニックの肥料の作り方やケニア特有の野菜を学び、更生院の子供たちやジェンダー被害を受けた女性と対話した事で様々な方向に興味を広げ、深める事ができた。その過程で多くの人とも知り合った。特に今回のケニア短期派遣プログラムに参加した 16 人とジョモケニヤッタ農工大学の学生達と深い関わりを持った。寝る間も惜しんで約 30 人と過ごした時間は私にとって大きな財産となった。

-2 点した理由は英語力にある。私はケニア短期プログラムに参加する前にスワヒリ語に気を取られてあまり英語を勉強していなかった。そのため現地での授業に参加した際、専門的な単語やアフリカ英語の発音に素早く対応する事ができなかった。わからなかった部分は同伴していた学生達に教えてもらい理解する事はできた。だが、やはり自身の力で理解をしそれらをより深く理解するためには英語力が必要だと感じた。

4. 今後の取り組み

短期派遣プログラムを通して多くの世界を知る事ができたと同時に自身の足りない部分も知る事ができた。

目標達成度を下げた理由でもある英語力が足りないと感じ、それを養うために現地で知り合った学生と連絡をとり英語を使う頻度を増やす事を現時点での小さな目標としている。また今回の短期プログラムで海外で学ぶ事の楽しさを知ったため今後の大学生活中にもう一度留学をしたいと考えている。その他にも世田谷キャンパスにのみある国際関係のクラスや WS にも積極的に参加したい。

5. その他

(ア) 持って行って良かったもの

- デジカメ - 記録係だったため持って行った。写真好きの方にはおすすめ。思い出を良い形で残せる。
- 貴重品入れ - パスポート、お金、保険証など貴重品をまとめて持てる物があると外出するときに準備の時間が省けて便利。
- 常備薬 - 体調を崩した時のため。
- 双眼鏡 - 国立公園に行った際に動物や景色をよくみる事ができる。運が良ければバスでの移動中も動物を見る事が出来るのでリュックに常備しとくと良い。
- 水着 - ホテルにプールが隣接していたので入りたい方はおすすめ。寒いです。

(イ) 用意したがいらなかったもの

- 日本食 - 私はケニアのご飯が口に合い、日本食が恋しくなる事はなかったので一度も食わずに現地の学生に配った。
- 私は心配だったため日本食以外にも小物を多めに持って行ったがホテル付近のスーパ

ーマーケットが想像以上に充実しており、足りないものがあればそこで買える。私は全体的に過剰に準備してしまったというイメージ。

(ウ) 現地で使用したお小遣いの金額

3万円、お土産を買う機会を多く作っていただけなので余分に持って行くのをおすすめする。

6. 次年度以降の参加者へ

(ア) 事前に準備した方がよいこと

ワクチンを接種する方は早めに予約する事をおすすめする。

(イ) 勉強しておくべきこと

特別必要なものは無し。余裕があれば、農業に関する専門的な英単語。





